

2005年3月22日

各 位

会社名 宇部興産株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 常見和正
(コード番号 4208 東証第1部・福証)
問合せ先 IR広報部長 泉原雅人
(: 0 3 - 5 4 1 9 - 6 1 1 0)

子会社の解散について

宇部興産株式会社(取締役会長兼社長 常見和正、以下「宇部興産」という)は、本日開催の取締役会において、北米アルミホイール事業再編のため、米国アルミホイール製造子会社 UBE Automotive North America Mason Plant, Inc. (代表取締役社長 ジム・アレソ、以下「Mason 社」という)が解散決議を行うこと、及び Mason 社他米国子会社 3 社の持株会社である UBE Corporation (USA) (代表取締役社長 清水誠、以下「UC 社」という)が解散決議を行うことを承認する決定をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、これに伴い両社は、米国現地時間で同日開催予定の各々の取締役会において、3月31日付での解散を決定する予定です。

記

1. 北米アルミホイール製造子会社(Mason 社)の沿革と解散の理由

Mason 社は、1989年7月、宇部興産の100%出資により米国デラウェア州法人としてオハイオ州メイソン市に設立されたアルミホイール製造子会社であり、1991年7月の出荷開始以来、ゼネラルモーターズやダイムラー・クライスラー等、大手自動車メーカー向けにアルミホイールを製造しております。

1992年10月、米国持株会社 UC 社設立に当たって Mason 社の株式は宇部興産から UC 社へ現物出資されたため、Mason 社は UC 社の100%子会社(宇部興産の孫会社)となりました。

その後、北米における宇部興産のアルミホイール事業は、軽量且つ強靱で光輝性に優れた品質特性を生かし、高級車市場を中心に高い評価を得、事業拡大を続けてまいりました。2000年6月には、旺盛な需要とホイールの大口径化の進展に対応するため、カナダ オンタリオ州に、Mason 社に次ぐ第二の北米アルミホイール製造拠点として UBE Automotive North America Sarnia Plant, Inc. (以下「Sarnia 社」という)を設立し、2002年5月より出荷を開始しております。

しかしながら Mason 社は、近年の中国品アルミホイールの台頭等に伴う市場競争の激化やメッキ品比率の急激な減少といった環境変化に対し、コスト低減の努力が追いつかず、また2003年には、労働協約更新の際の労使紛争に伴う生産性の著しい低下も加わり、大幅な赤字に転落いたしました。

2004年も、業績回復のために様々な施策を講じたものの、生産性の改善・固定費の削減が進まず、多額の営業損失を計上しております。

このような状況を踏まえ、宇部興産は Mason 社再建の可能性を慎重に検討した結果、この度、Mason 社は解散し、Sarnia 社に事業を集約する形で北米アルミホイール事業を再建することが最善の方法であるとの結論に至りました。

これにより宇部興産グループのアルミホイール事業は、日本市場を対象とする宇部興産のアルミホイール部門と北米市場を対象とする Sarnia 社による2極体制となり、また、16インチクラスの中口径ホイールが中心であった Mason 社を解散することにより、大口径品比率を高める戦略を一層加速することになります。

なお、Mason 社は、顧客に対する供給責任を全うするため、解散決議後も既受注品の生産を一定期間続

ける予定であり、また従業員及び地域社会に対する影響を最小限に止めるべく、最善の手段を尽くす所存です。

2. 米国持株子会社(UC社)の沿革と解散の理由

UC社は、1992年10月、宇部興産が所有していた米国子会社株式を現物出資することにより、宇部興産100%出資の米国デラウェア州法人として設立された米国持株会社です。その後、宇部興産の機械・アルミホイール部門の分離・独立・再編等により、現在の資本関係は、宇部興産91.7%、宇部興産機械8.3%の出資となっております。

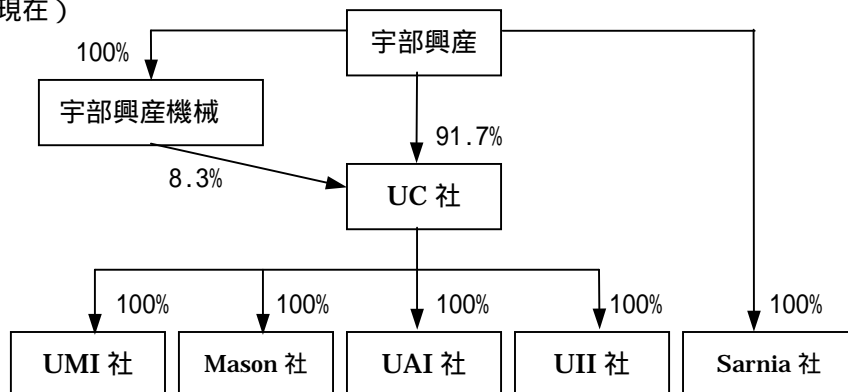
UC社は現在、米国子会社であるUBE America Inc.(以下「UAI社」という)、UBE International(U.S.A.), Inc.(以下「UII社」という)、UBE Machinery Inc.(以下「UMI社」という) Mason社の4社の全株式を保有し、米国にて連結納税を行っております。

今般Mason社解散に伴い上記資本関係を見直し、米国持株会社UC社を解散し、米国子会社への出資を日本からの直接出資に戻すことと致しました。

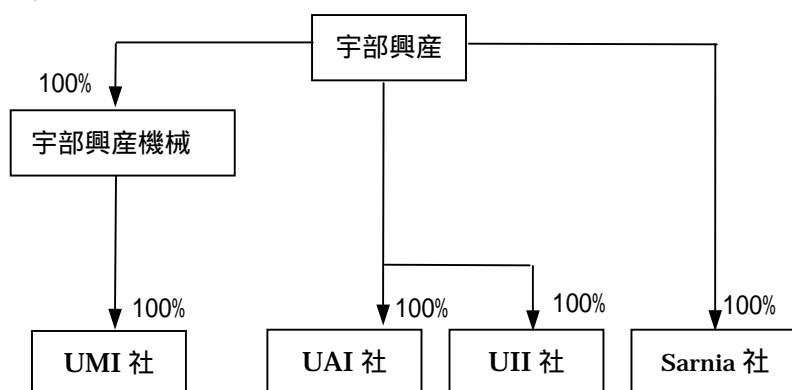
これにより、資本関係を簡略化することで、各米国子会社の意思決定の迅速化、事業運営の効率化を図ります。

なお、Sarnia社を含めた北米子会社の資本関係の概要は、以下の通りです。

(現在)



(再編後)



3. 解散の日程

< Mason社 >

2005年3月22日	Mason社取締役会にて3月31日付の解散を決定
2005年3月31日	Mason社株主総会にて解散決議
2005年4月1日以降	一定期間生産継続 生産終了後、清算手続き開始

< UC 社 >

2005年3月22日 UC社取締役会にて3月31日付の解散を決定
 2005年3月31日 UC社株主総会にて解散決議
 2005年4月1日 清算手続き開始

4. 当該子会社の概要

(1) 商号	UBE Automotive North America Mason Plant, Inc.		UBE Corporation(USA)			
(2) 事業内容	自動車用アルミホイールの製造及び販売		米国持株会社			
(3) 設立年月日	1989年7月		1992年10月			
(4) 本社所在地	4600 Mason-Montgomery Road, Mason, Ohio, USA		874 Walker Road, Suite C, City of Dover, County of Kent, Delaware, USA			
(5) 代表者	代表取締役社長 ジム・アレン		代表取締役社長 清水誠			
(6) 資本金	62,500千US\$		76,900千US\$			
(7) 発行済株式総数	1,000株		384,500株			
(8) 株主資本	45,284千US\$		102,720千US\$			
(9) 総資産	94,439千US\$		102,918千US\$			
(10) 決算期	12月31日		12月31日			
(11) 従業員数	342名		0名			
(12) 主要取引先	タイムラー・クライスラー、ゼネラルモーターズ、日産、フォード等日米主要自動車メーカー		なし			
(13) 大株主及び持株比率 (2005/1/1現在)	UBE Corporation(USA) 100%		宇部興産 91.7% 宇部興産機械 8.3%			
(14) 主要取引銀行	FIFTH THIRD BANK		UFJ Bank, New York Branch			
(15) 最近3決算期間の業績	(千US\$)			(千US\$)		
	2002年 12月期	2003年 12月期	2004年 12月期	2002年 12月期	2003年 12月期	2004年 12月期
売上高	108,299	89,602	65,412	-	-	-
営業利益	4,483	5,478	31,378	81	57	51
経常利益	1,645	13,095	45,232	954	313	355
当期純利益	1,645	39,689	45,232	18,926	470	539
一株当り 当期純利益	1,645US\$	39,689US\$	45,232US\$	75.9US\$	1.8US\$	1.4US\$
一株当り 配当金	-	-	-	-	-	-
一株当り 株主資本	14,637US\$	25,052US\$	45,284US\$	299.4US\$	297.4US\$	267.2US\$

(注) 上記(6)、(7)、(8)、(9)、(11)の数値は2004年12月31日現在のものです。

5. 解散に伴う損失額

Mason社解散に伴い、連結ベース・単独ベースともに、68億円の特別損失を計上いたします。
 これには、清算に伴う諸費用や資産評価損・売却損、更には解散決議後も一定期間既受注品を生産するため発生するすべての損失を取り込んでおります。
 なお、UC社解散による宇部興産の連結・単独決算に与える影響はありません。
 これに伴い、宇部興産の業績予想の修正を、本日別途発表しておりますので、ご参照願います。
 なお、上記特別損失の計上にも拘らず、化成品・樹脂部門を中心とする営業利益の上方修正や上記解散に伴う税効果等により、連結当期純利益は前回発表値を上回っていることを申し添えます。

以 上